**【テーマ３】　最適な財産管理により、府民サービスの基盤の維持向上を図る**

|  |  |
| --- | --- |
| **めざす方向** | ◎財産の適正管理により行政運営を支えます。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **公共施設等の最適な経営管理（ファシリティマネジメント）の推進** | | | | | |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | **▶** | **＜進捗状況（H30.3月末時点）＞** |
|  | **■公共施設等の最適な経営管理（ファシリティマネジメント）の推進**  ・『大阪府ファシリティマネジメント基本方針』に基づき、公共施設等の長寿命化と総量最適化・有効活用を図る。  【長寿命化】  ・28～30年度の3年間で延床面積１千㎡以上の建物約800棟（府営住宅等を除く）について劣化度等を調査し、中長期保全計画を策定。  【総量最適化・有効活用】  ・建築後25年目・50年目を迎える施設等について、将来の施設の活用方針を検討。  （スケジュール）  【長寿命化】  29年４月～30年1月　劣化度調査等を実施  30年3月　 劣化度調査結果等をとりまとめ  【総量最適化・有効活用】  29年4月～ 総量最適化・有効活用に関する施設点検  29年9月　 点検結果の中間とりまとめ  2930年2月　 点検結果のとりまとめ | ◇活動指標（アウトプット）  【長寿命化】  ・約340棟で劣化度調査等を実施。  【総量最適化・有効活用】  ・約70施設で有効活用度等を点検。  ◇成果指標（アウトカム）  【長寿命化】  ・3年間（28～30年度）で劣化度調査等を行い、中長期保全計画をとりまとめる。  【総量最適化・有効活用】  ・建替え、大規模改修による維持（長寿命化）、廃止（売却）など将来の施設の活用方針を整理。 | 【長寿命化】  ○建替えや用途廃止等が決まった建物を除く328棟について劣化度調査等を行った。  【総量最適化・有効活用】  ○75施設について、有効活用度等を点検し、維持・建替え・廃止など将来の活用方針を検討し、とりまとめた。  ○上記のほか、減損の兆候を判断する指標（9月公表）により利用状況が低い16施設について、有効活用の状況を点検した。 |
| **府有財産の取得、管理、処分** | | | | | |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | **▶** | **＜進捗状況（H30.3月末時点）＞** |
|  | **■府有財産の処分の推進**  　・府有財産の売却による収入の確保。 | ◇活動指標（アウトプット）  ・不要財産を早期に整理し、売却手続（入札等）を推進。  ◇成果指標（アウトカム）  ・29年度当初予算計上額（11.8 億円）を上回る収入を確保。 | ○29年度は3回行った入札等の結果、当初予算の計上額を上回る約39.3億円の売却収入を確保した。 |

自己評価



|  |  |
| --- | --- |
| **【部局長コメント（総評）】** | |
| **＜取組状況の点検＞** | **＜今後について＞** |
| **■公共施設等の最適な経営管理（ファシリティマネジメント）の推進**  当初の目標を達成することができました。  **■府有財産の取得、管理、処分**  当初の予定を上回る収入額を確保しました。 | **■公共施設等の最適な経営管理（ファシリティマネジメント）の推進**  ・引き続き、『大阪府ファシリティマネジメント基本方針』に基づき、公共施設等の長寿命化と総量最適化・有効活用を図ります。  **■府有財産の取得、管理、処分**  ・引き続き、不要財産の適正かつ迅速な処理手続きを進め、売却による収入の確保に努めます。 |